第２回阿賀野市笹神地区小学校統合検討委員会　会議録

１　開催日時　　令和８年10月７日（水）　午後６時００分～７時３０分

２　開催場所　　阿賀野市ふれあい会館　１階研修室

３　出　席　者　　委員長　佐藤　元彦

副委員長　石塚　繁

委　　員　荒木弥栄子、若林彩、小菅宏樹、後藤雅利、小野俊巳、髙橋佳代、石山慎太郎、音田奨

学校教育課長　五十嵐　貴幸、課長補佐　古田島　理枝子、係長　小林　智子

４　欠　席　者　　なし

５　次　　第　　（１）　開　　会

（２）　委員長あいさつ

（３）　協　　議

保護者アンケートの内容について

（４）　その他

（５）　閉　会

６　傍　聴　者　　なし

午後６時００分　開会

五十嵐課長	定刻となりましたので始めさせていただきます。 本日は11名の委員のうち９名の委員の方からご出席いただいております。 （１名６時６分に出席） 過半数に達していますので、笹神地区小学校統合検討委員会設置要綱第６条の規定により委員会を開催させていただきます。 それでは、お手元の次第の通り会議を進めて参りたいと思います。 最初に委員長からあいさつを申し上げます。
佐藤委員長	第１回の会議では、皆さんから活発な意見をいただきありがとうございました。 本日アンケートの内容を決定することが主になりますが、前回同様、様々な意見をお願いできればと思います。本日はよろしくお願いします。
五十嵐課長	委員長ありがとうございました。 本日も遅くとも７時30分には会議を終了したいと思いますのでご協力お願いいたします。 以降の議事につきましては委員長から進行をお願いします。
佐藤委員長	それでは、次第３　協議、協議保護者アンケートの内容について事務局説明をお願いします。事務局説明をお願いします。
古田島補佐	本日お配りしました資料をご覧ください。 前回皆さんからいただいたご意見を踏まえまして、市教育委員会の方針を記載したアンケート案も作成いたしました。

	アンケートの対象者は、笹神地区の小学校に通う児童の保護者と、笹神地区の保育園・こども園に通う園児の保護者とします。 ２つの案について、最初のページは違う内容になっていますが、その他は全部同じ内容となっております。 まず案１、「現状を説明」という方をご覧ください。これは前回お渡ししたものとほぼ同様の内容ですが若干修正いたしました。 前回の資料と異なる点ですが、タイトルの下の阿賀野市笹神地区小学校統合検討委員会の次に（統合検討委員会）という文言を加えました。４行目にも（アンケートの結果を踏まえて、統合検討委員会で方針を決定します）という文言を加えました。四角の囲みの中は変えておりません。あと、一番下のところにアンケート回答用ＱＲコードと回答期限、注意書きの※を２点、ＱＲコードで回答できない場合は学校又は園にお申し出ください、と、アンケートの結果と統合検討委員会が決定した方針は３月頃公表予定です、を加えました。で、アンケートの最後に、いただいたご意見は参考資料として活用します、という文言がありましたが、これを削除しました。 もう１つの案は、教育委員会の方針の説明ということで、前回の会議の中で教育委員会の方針を示したらどうかっていうご意見がございましたので、そのように記載しています。 そんなに大きくは変わっていないんですけれども、囲みの中に笹岡小学校と神山小学校を統合する方針で検討を進めていますという言葉を入れてあります。これが教育委員会の方針だということを示しています。統合検討委員会と教育委員会で少しごちゃごちゃするかとも思いましたが、このようにしました。他の変更点は１つ目の案と同じです。 本日プロジェクターを用意しましたので、皆さんのご意見を聞きながら、可能な限りここで皆さんからいただいた意見を入力、修正して、この場である程度の内容を決められたなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 私からは以上です。
佐藤委員長	アンケートの内容については、皆さん見ていただけたと思いますが、これからアンケートの内容について順に皆さんからご意見をいただきたいと思います。 なお発言する際には、現時点でのご自身のお考えも言っていただければということで、もちろんアンケート結果を踏まえて変わっていくのも当然ありだと思いますが、よろしくお願いしたいなと思います。
小野委員	先日堀越小学校から分田小学校との統合を検討する時に保護者に出した文書をいただいたので、お配りしてもよろしいでしょうか。それを見たうえでの意見を考えてきましたので、聞いていただきたいのですが。 これを見て思ったのもありますし、教育委員会のアンケート案２にも近いのですが、やはり教育委員会としての案を強く出してもらった方がアンケートを取ったときにも混乱しないだろうと思います。 分田小学校の文書はもう、閉校、統合することが望ましい、閉校は何年何月何日か望ましい、校舎は堀越が望ましい、と教育長名で文書を出しています。同じようにしてもらうとアンケートは回答しやすいかなと思いました。 具体的な意見としては、こういう理由から、笹岡と神山を統合し、新しい学校を作るのが望ましい、と書いてもらいたい。統合時期は入学生が３人になる令和 11 年４月１日が望ましい、場所は神山小学校か笹岡小学校、このアンケートの結果をもって決める、というのを、教育委員会か統合委員会がどちらかわかりませんけども、方針を出した方がそれに賛成、反対ということで回答しやすいだろうなというふうには思いました。 あとどうしてもあった方が良いと思ったのは、多分これから話題になると思うんですけども、名称は、例えば仮でもいいので、笹神小学校とし、校歌や校章については新しく作る、と記載してもらえると良いと思いました。 一番思ったのは、仮に笹岡小学校になったとしたら、統合して最初の６年生が５年間校歌として歌ってきたものを歌えなくなるんだなと思ったときに嫌なんだろうなとは思いましたし、保護者も神山小学校の卒業生が大勢いて、そこが嫌な人は多いんじゃないかと思いましたので、そこを明らかにしてもらえると、アンケートも取りやすい、答えやすい。

	具体的なアンケートの中身については、①統合について②統合する場合何年度に統合するか③統合場所について④校名について、の４点で良いのではないか、たくさん設問があってと混乱させるよりは良いのではと思ったので、一応資料と一緒に意見として言わせていただきました。
佐藤委員長	小野委員の立場としては、今のところアンケートの結果次第でしょうか。
小野委員	令和 11 年度に入学してくる３人の保護者の方々が希望しているのであれば、地域の方々の意見はあっても保護者の意見が優先かなと私は思っていますので、だったら設問を具体的にした方が答えやすいんじゃないかなと思うんですよ。
佐藤委員長	ありがとうございます。 小野委員から分田小学校の文書を配布していただきましたが、分田の時は、既に複式学級になっていて、これでは困るねということになって、それを踏まえて市から令和３年９月に文書を出したんだとは思いますが。この文書は、意見集約について、ということなので、今回の統合委員会を立ち上げてというところと違いますけれども、意見の集約はアンケートを踏まえて行って、そして検討するという方向で、あと、ここに書いてあるような具体的なものが方針の中に示された方が意見を言いやすいんじゃないかということでありました。 今のご意見について何かつけ足し等ありますでしょうか。
音田委員	アンケートに、統合する場所は笹岡小学校か神山小学校で統合しますと書いてあるわけですね。先回、石山委員が笹神中学校で小中一貫校という話もされてました。笹神地区の真ん中辺だということで神山地区の人は同意しやすいんだろうと思います。 もう１点、笹神中学校の向かいに笹神体育館があります。笹神体育館の外階段のところ、中学校側に、２階に上がるようなテラス敷というか広い場所がありますよね。あの場所はそもそも笹神中学校と笹神体育館を歩道橋で結ぼうと、子供たちが行ったり来たりできるようにと、そういう前提で外階段をつくったという話を聞いたことがあります。 なのでそばに大きな施設が１つあると、何か大きな行事がある時に中学校の目の前に笹神体育館があるので、あそこは談話室などの部屋もいろいろありますので、余裕ができていいのではないかなと感じておりました。ぜひこのアンケートにはそれを盛り込んでいただきたい。 小中一貫校という仕組みができるのかどうかわかりませんけれども、私が調べてみたところ、小中一貫校というのは新潟県も含めて全国的に増えつつあるんだそうです。 複式学級はメリットもデメリットもあるということで、先生方おっしゃってましたけれども、小中一貫校もメリットもデメリットもあるという中で、やはりメリットが多いからといって小中一貫校を増やす方向にあるのでは、いろんな資料を見る限り、そういう意見が多くなっていると思います。その状況の中で、小中一貫校を最初から否定するのはちょっとないかなと思います。
石山委員	私が話そうと思っていたことを今音田さんにお話しいただきましたが、先回の会議でそれも良いかなという雰囲気になった、統合場所を中学校にするという選択肢がないということは、市としてはその方法を考えていないという意思表示として受け取って良いのでしょうか。 もう一つ、本当の話かどうかわかりませんが、中学校は中学校で笹中は水中と統合しようとしている、市長がそのように話している、という噂が聞こえてきました。 私もちょっと仕事柄 60 代 70 代の方々､15 名ほどの方々と一緒に仕事しているんですけど、小学校の統合の話のときに、やはり中学校っていう中間の場所が統合するのには良いのでは、笹岡に寄ったり神山に寄ったりというと不公平感があるのかなと。でも中学校だと抵抗感は減るのかなという意見が多かったんです。 ちょっとその選択肢の部分は特に聞きたいと思います。
五十嵐課長	この選択肢の部分、小中一貫校を選択肢に加えていないというのは、そこを小中一貫校にしようとすると、今の笹神中学校の校舎では児童が入りきらないので、増築が必要になって

	くるのでコスト的に難しいところがある、それが一番の要因です。 小中一貫校にメリットがあるというお話もあったんですけれども、事務局側としては小中一貫校にあまりメリットを感じていない、小学校は小学校、中学校は中学校で、学校としてあった方がいいんではないかというのが事務局の考えです。
後藤委員	私は中学校のＰＴＡ会長もやっていますが、中学校の統合の話は聞いたことがあって、私も今回確認しようと思っていたんですが、将来的には１学級 20 人程度になるのが目に見えているので、中学校の保護者とも話したら、いきなり小中一貫校にするのは難しいとは思うんですけど、一旦笹岡と神山で統合をして、またさらに改修とかも必要だと思うので、改修した後に移動するのも可能ではないかなっていう話も保護者からはありました。 特に年配の方に言われるのが笹神学区に学校自体がなくなってしまうおそれがある。 だったら、小中学校を一緒にして、笹神学区で学校は存続させるっていう方法も一つじゃないかというのは聞いたことはあります。中学校の現状の児童生徒数だと多分不可能だと思うんですけど、このまま減っていくと可能になるはずですよね。
古田島補佐	人数は入りますよね。教室の配置について、基本的に小学生と中学生が同じフロアになるのは難しいと思います。
後藤委員	私が思ったのは、１階に小学校低学年、２階が高学年、３階が中学生とすれば可能ではないかなと思います。 カリキュラムの問題もあるでしょうし、運動するにも小中学生で基準が違うと思いますが、武道館がほとんど使われていない、利用されていない空き教室もある状態だと思うので、そういうところから考えてもいいのかなと。 今回の統合のまたさらに次のフェーズになるとは思うんですけど、その先を見越してもっと考えていきたい、中学校としても危機感があるところで、今、長期的なプロジェクトもいろいろやっているんですけど、そういうものも不可能になっていくことになりますので。
音田委員	２段階で中学校１か所に行くという案もあるということで、それに対して先ほどから学校教育課の方でダメだって言ってるのは、お金の話でダメと言ってますよね。そういったのももしダメならダメではっきり書いてもらわないと困ります。 議会が通らないのか市長がうんと言わないのかわかりませんけども、それはきちんと書いて、小学校の親御さんたち、これから入学する親御さんたちがなぜ一貫校にならないのと、一貫校が良いらしいよという、学校教育課と違う意見を持ってるかもしれない。なのに、なぜやらないんだということになると思うので、それは予算化できないのでできませんと書いておかないと正直じゃないと思います。 だから選択肢として、時間差で２段階で小中一貫校にしましょう、名称は何でもいいですが、そんな方法も考えられると思うんですね。 お金がないのはわかりますんで、きちんと書いておかないと、保護者たちに対して、それは不義理になると思います。
石山委員	例えばこの自由意見の欄に、小中一貫校はどうだってあちこちから聞こえるんで少なからず書く人もいるんじゃないかなと思うんですが、それが仮に多かった場合には、市の考えが変わるのか。ちょっとお答えいただいたとおりで納得はしてるんですけども、今音田さんがおっしゃたように、その選択肢がないのであればないと書いた方が後で揉めないと思います。
小菅委員	選択肢、可能性で言えば、いくらでも意見は出るわけですよ。 中には笹神地区の学校を全部なくして水原と統合すればいいって人もいるかもしれないし、水原地区にまとめるんじゃなくて笹岡地区は安田に行けばいいっていう人もいるかもしれない。だから可能性を言ってしまえばもう何でも書かないといけなくなるのでやっぱり絞るべきだと私は思います。
荒木委員	今話し合っているのは笹岡小学校と神山小学校の統合のことについてなので、中学校はそ

のさらに先になるので、一旦私は置いておいても良いと思うんです。
人数的には中学校に統合はできますけれど、そのクラスで今体育の授業、体育館を使うってなったときに１学年１クラスとして９クラスになってカリキュラムが組めるのかなとか、やはりそこまで考えなきゃいけなくなるんであれば、今は令和 11 年度の問題ための会議として考えるということで良いのではないかなというのが私の意見です。

若林委員

私も小中一貫校はとても良い考えだと思っていて、この先笹神がどうなっていくのかなって考えたときにその未来も見えてくるんですけど、やはり近々でもう３年後にはもう小学１年生、入学生が３人という危機的状況にある中で、やっぱりそちらが優先なのかなという考えです。
その先に小中一貫校があるのかなと思っていて、その事について話し合われるんであればもっと慎重に会議を重ねて、小中学生の体の違い、成長の違いはとても大きいので、すごく慎重に、もっといろんな見方でいろんな方の意見をもらって進めていくべきなんじゃないかなあと思っています。
今は３年後に控えたこの危機的状況をどうしていくかというところで、２つの小学校が１つになる、そこに重点を置いた方が良いのかなと思いました。

髙橋委員

私も小中一貫校はまだ考えなくてもいいかなと思って、今ある笹岡と神山小学校の統合をとりあえず考えたほうがいいかなと思います。

佐藤委員長

今の小中一貫校の意見は、この前の会議でも出たところですが、今後学校再編計画を策定するうえで、市からこんな可能性もありますよと今出たような意見のことが示されていれば、そこで検討されていくんじゃないかなと思いますが、この統合委員会では、今回その３年後の危機に備えた案に焦点化していって、但し、この統合の答申を上げるときに、そんなことを不安に思っている委員の方もおられます、ということで今後ぜひ市の方で検討していただきたいというような意見として、３年後の危機に対する答申とその他の阿賀野市笹神地区の今後の教育についての意見ということで上げていくこともできると思います。ここで今挙がった意見も大切なことなので、答申の一部に挙げて、市に宿題として伝えていくのも必要なんじゃないという方向にすれば、小学校統合への焦点化と、今後の検討事項ということで、そんな意見が今出てるということが伝わるのではないかとは思います。

石山委員

皆さんの意見を聞いて、まず３年後の問題を何とかしなければいけないんですけれど、小中一貫校の検討はその先の話だということで私も今納得したというか理解できました。
どうもありがとうございます。

佐藤委員長

その他、統合について自由な意見を、というところで、そういうことを書かれる地域の方もいらっしゃるかもしれないので、そうなればそれはそれでまた答申の中に入れていくような形にすることが考えられると思います。統合した以後が不安だというような意見もあったので、あとは焦点化してこのアンケートの内容について、答えやすさの面でどうなのかというのを皆さんからご意見を伺っていきたいと思います。
市の方針、市の方針「案」なんですかね、方針というともう「これだ」という形になりますが。

古田島補佐

「検討を進めています」という言い方にしています。
当然この委員会で決めていただいて、結論を出していただいて、答申していただいて最終決定になるので、あくまでも案ではあります。
分田小学校の当時の文書については、これよりも少し前に実は市全体の第二期再編計画があって、そのときに一度分田地区の方に呼びかけたけれども統合に至りませんでした。その後に複式学級が編成される状況になって、今度は地域の方から統合してほしいという話が出て、教育委員会から統合しましょうという文書を出したというのが経緯ですので、今回とは状況が少し違うのかなと思います。望ましいというものも結構強い言い方なんですけれども、これは住民の方たちから統合したいという要望があったうえでの表現です。

	ここまで強い言い方をしてしまうとこの検討委員会の意味がなくなってしまうというか、今回は委員の皆さんのご意見を聞いて決めますということで委員会を立ち上げさせていただいたので、市の方針としては、案としてはありますけれども、でも本当に皆さんが反対だとなれば統合は難しいのかなと思っています。
荒木委員	そこは反対ではないです。
古田島補佐	ですので、分田小学校の時のような強い書き方は難しいのかなと思います。方針ではあるんですけど、「案」とつけて良ければ「案」とつけさせていただきたいと思います。
後藤委員	確かにその方針と言い切るのか、方針「案」にしてこのアンケートを出すのかということで、案をつけた方が柔らかい感じはします。 方針を焦点化して、これに賛成か反対かみたいなことになります。
後藤委員	この統合の話がどこから出てきたのか、というのがわからないんじゃないですか。例えば３年後の入学者３人の保護者からそう言われたのが、市として統合を、という話なのかを明確にしないと。今まで統合の話はたぶん何回かあったと思うんですけれども、噂だとは思いますが、神山学区の方々が統合はまだ早いと言っていた、という話が結構言われていましたよね。 なので、それだったらまた統合しなくても良いのではないか、となってしまうので、市が統合をしたいと考えているのか、保護者から統合してほしいという要望があったのか、経緯や方針をしっかり示した方がアンケートは答えやすいと思いますが、中途半端な感じがします。統合したいのがしたくないのかよくわからないアンケートになってしまっていると思います。 教育環境を整えるには、統合がほぼほぼ良いという考えなのかなと思っていますが。
古田島補佐	今回は私達、市の方から皆さんに問いかけをしています。複式学級は教育環境としてはあまり好ましくないかなというところから、市としてはこの方が良いということで今進めているところです。
後藤委員	それなら、明言するというか、回りくどいことを言わないで、市としてはこういう方が望ましいんではないかと思いますが、今の保護者とこれから小学校に上がってくる保護者にアンケートをとって、このアンケート結果を踏まえて統合委員会で検討します、と記載した方がわかりやすいと思います。
佐藤委員長	具体的には、３行目の次の行で「このような状況を踏まえ」ではなくて、市としては「複式学級にならないような教育環境を整備したいので」という文言を入れた方が良いんじゃないかと。要は、市としては複式学級を避けたいということを明確に書いたほうが良いというご意見だと思いますが。 「このような状況」の中にその意味合いは含まれるのかもしれませんが、そこもはっきり記載するように変えた方が良いでしょうか。
音田委員	今の話で、その複式学級を避けたいという考えがあることはわかります。そういうことで今進んでるわけですから。 ところが、前回の会議で３人の校長先生経験者の方にお聞きしたら、メリットもデメリットもあるというのが大方の意見でした。 そういう中で、複式学級を避けたいと教育委員会、学校教育課が考えるのは構わないんですけれども、それであれば複式学級はこういうデメリットがあるんで避けたいですと書いてもらわないといけないと思います。 私は最初に申し上げましたけれども、複式学級でもみんな立派に成長してますという話を聞いていまして、例えば粟島浦村などもそうですが、農山漁村に都会から留学する子供がいるようですよね。親御さんたちが大人数では馴染めないからということで離島などに留学す

る、親がさせるという話もあるようです。
　複式学級は面倒だ、嫌だ、やめた方が良いという意見を教育委員会で明示できるかどうか。お金がかかるからという理由を書くのは簡単です。
　また、小野委員がおっしゃっていた、教員の数が減って学校運営が大変だという話もありました。そうすると教員の負担が増えて教育の質が落ちるということもあるかもしれませんが、一方では農山漁村へ留学することもある。
　そういう中で複式学級は避けたい、それを市が打ち出すのは良いんですけれども、裏付けというか考えを持って出してほしいと思います。
　どっちが良いかはわからない、ケースバイケースだと思います。非常に難しい話だと思います。

佐藤委員長

　そこまではっきり出してしまうと、複式学級でうまくやってるところも否定するような書き方になってしまうので、それは避けたほうが良いのではないかと言うところで、表現の方法の部分になってくると思うんですよね。
　だから市としては、なるべく子供たちが多くの人間関係の中で過ごしてもらいたいため、統合の方針にするというような記載になるのかなと思います。折衷案になると思いますが。
　書きぶりについては、それをはっきり書くか、複式学級でうまくいっているところもあるからということも配慮しなきゃいけないんじゃないかと思います。

石山委員

　案２の方、教育委員会の方針を読んでいくと、令和 12 年から複式学級になる見込みです、せざるを得ないという意味に取れますし、その先を読んでいくと、統合する方針で検討を進めています。ということで、読んでいくと、できれば複式学級はやりたくないんです、統合したいんですけれども皆さんどうですか、という意味に取れるかな、極力やわらかく書くとこうなるんだろうなと思って見ていました。
　音田委員のはっきり書いた方が良いという意見もわかりますし、これを親御さんにゆっくり読んでもらうと、今と同じ結論に、そういう意図を含むだろうなとは思ってもらえると思います。

荒木委員

　分田小学校のあり方についての意見集約の１に良いことが書いてあるんですけれどもそういうことでいいんですよね。案２のより良い教育環境を整えるためっていうのは分田小学校のあり方についての１ということですよね。
　多分、より良い教育環境、という書き方でわかるかなと思います。細かく書かなくても、親はもう良い環境を望んでいますので。

音田委員

　私はＰＴＡ役員もやりましたし、今は神山っ子を育む会をやったりしていて、あちこちで意見を聞いたりすることもあります。親御さんたちは小学校に対して特に何を期待するかというと、子供たちが毎朝行ってきますと言って元気よく学校に行くこと、それで帰ってくるとニコニコしてただいまと言って帰ってくるっていうこと、それが第一なんですね。それは横浜の人であろうが群馬の人であろうが、親御さんはまずそれを第一に考えてるわけですね。
　中学校でもそうですけども、部活に行くにしろ何にしろ、楽しくいろんなことに参加する、学校に行くのが一番大事だと思っていて、親御さんたちもそう思ってるんじゃないかなと思います。
　でもそうでない人たちもいっぱいいるということが多分現実だろうと思います。そういう話をＰＴＡの大会に出るとちらちら話を聞くんですね。ニコニコ学校に通っている状況の中で次に親御さんたちは何を期待するかっていうと、算数が好きになった、算数ができる、走るのが好きになった、音楽が好き、絵を描くのが好き、となりますが、学校に行かない限りはそれがなかなか実現できないということがあります。
　今は校内教育支援センターなどでうまくクリアできているのかもしれませんけれども、親御さんとしての希望はとにかくニコニコ学校に行ってほしいと思っている。
　それが大規模校になると、統合したところで笹神の小学校は大規模ではないでしょうけれども、大規模校は間違いなくいろんな問題がありますので、そこのところを、２歳、３歳の子供の親御さんたちが予想できるのか。うちの子はグズって学校に行かないということが１～

	２回ぐらいしかなくて、あとはもう毎日楽しく学校に通っていました。
小菅委員	前回の会議でも思ったんですが、委員の方一人一人の賛成反対が聞きたいです。何か意見が曖昧過ぎて、タウンミーティング的な感じになってますけど、要は音田委員は統合反対ということですよね。
音田委員	私は統合する場所にもよります。 少し話はそれますが、私は実は笹神中学校の第１期生なんです。中学校に入るときは神山中学校で、こちらには笹岡中学校がありました。３年生のときに統合して笹神中学校の第１期生になりました。 中学、高校となるに連れて友達が増えたので、やはり人数が多い方が友達になる可能性のある人が多くなって自分としては良かったと実は思っています。 ただ、大規模校は間違いなく不登校が増えてくる。そういうことが想定できない人もいるかもしれないと思います。知らないで統合したら想定と違った、と思う人もいるかもしれません。 どんな方針にしても必ず反対する人が出てくるので、だから私は統合反対、賛成ということを言うべきではないと最初から思っていました。あくまでもアンケートを回答する人に情報提供をできればいいなと思っていました。 どちらが良いのかは一概に言えない、判断するのは、将来小学校に行く子供たちの親御さんたちで良いと思います。私の意見がどうのこうのではなく、この件について私は賛成、反対について一言も話していませんので、校長経験者などの意見も聞きながらアンケートを作って、そこで多数決で決めるのであればそれは仕方がないと思います。 私はとにかく情報を出したい、出して皆さんに判断してもらいたいと思います。
石山委員	私は統合に賛成に近いというか、賛成寄りの人間なんです。 というのは、やはり私が神山小学校にいた頃に比べて児童数が少なすぎるんですね。今２年生が 16 人で、うちの子がいるクラスなんですが、私の時の半分以下です。授業参観に行って感じるのですが、保育園の頃から同じクラスで、ある意味みんなが近い距離なんでしょうけれども、どうしてもグループができてしまう。仲の善し悪しは当然人間だからあるんですけれども、人数が少なすぎると薄まらないんですよね。 この子とうまくいかないからこちらの子と仲良くなろう、というようなことがしづらい環境にあるのかな。学校でもいじめ見逃しゼロのような取組をされてるのもよくわかるんですけれども、逆にそれが際立っちゃって、人数が少ないからこそ、相手が少しでも嫌だと思ったらそれはいじめです、というのがどうも極端な感じがして、冗談で言ったことがそれは相手が嫌だと思えばもういじめだっていうのがちょっと引っかかってる部分があります。人数が多くなればその辺がやわらかくなるんじゃないかなと思うところがあります。 そもそも、令和 11 年は入学者が３人、３人だと２人が仲良くなって１人が外されたらもう行き場がないですよね、ということまで考えた時に、やはり統合は必要じゃないかなと私は思っています。
髙橋委員	私も統合に賛成です。
佐藤委員長	校長先生の委員さんの意見は除いて、荒木委員お願いします。
荒木委員	私も統合できれば良いなと思います。
若林委員	私も賛成です。 ただ笹岡小学校は人数が多いので、このアンケートを配っただけでは、しっかり読みこんで理解して回答することができない方もいらっしゃると思うんですよね。 だから、みんなで考えたことが一言一言盛り込まれたアンケートが、保護者みんなが自分ごととして書いてもらうために、この紙だけで終わらせないで、アンケートを配る前に教育委員会の方々の思いとか方針とか現状とかを保護者に伝えてあげてからの方が回答しやすい

んじゃないかなって思います。参観日の後の保護者懇談のような、体育館に集まってもらって話をするとか、何か具体的な話がないと、真剣に考えて回答する保護者がどれだけいるのかという心配はあります。

小菅委員　　僕も統合には賛成なんですが、はっきり言ってしまえば別にアンケートとかもどうでも良くて、教育委員会だったり、首長だったりが、はっきりこういう風にしますと示した方が皆さん従いやすいですし、こうやって意見として出てきたということは、委員の皆さんは保護者だったり地域の方の代表だったりだと思っているので、別にアンケートを取らなくていいのかなっていうのが個人的な意見です。
　こういう風にしますと言えばもちろん反対意見もあると思っていて、それを無視するわけではなくて耳には入れておきますが、統合する場合にはどういった弊害が出るとか、こうした方がいいんじゃないかとか、そういう話をした方が、前回荒木委員もおっしゃってましたけれども、その方が建設的だと思います。

後藤委員　　統合に賛成です。
　小菅さんとちょっと意見がかぶるかもしれませんが、おそらく小学４年生以上の保護者の方は、私は関係ないっていう感じでアンケートもほとんど回答しないんじゃないかなと思うので、回答の対象を絞ってアンケートを取っても良いと思いますし、小菅さんが言った通り、もうアンケートを取らなくても良いとも思います。
　ちょっと思ったのが、ランチルーム、給食センター化については、学校の行事の時に市の担当者が来て、こういう方針でいきます、という説明会をしたと思います。
　反対もありましたけれどもそういう風になったと思うので、逆に言えば、市がこういう方針でというのであれば、こういう方針で考えていますと示して、反対意見もあると思うんですけど、それを良かったと思わせられるように考えていった方が良いのではないかなと思います。

佐藤委員長　　今話し合ったことについてですが、１回目の委員会の会議録はもう市のホームページに掲載されていますか。

古田島補佐　　掲載されています。

佐藤委員長　　委員会で出た意見について、会議録をホームページで見ることができます、みたいな形で周知すると、それを見てもらえれば、いろんな意見が出てたんだなということでわかると思うので、アンケートを取る時に伝えないといけないかなと思います。そうすれば委員の皆さんから今出た意見は、興味ある人には読んでもらって伝わると思います。参観日等で教育委員会の方が行って説明する、というのも丁寧な方法だとは思いますが。
　紙が配られてスマホで回答という方式は、今の親御さんだと紙で回答するよりは良いかなとは思います。外国籍の方などはよくわからない、となってしまうことがあるので、一番下にＱＲコードで回答できない場合は学校または園にお申し出くださいと記載してあるのはそこへの配慮かなと思います。
　このアンケートの位置付けはあくまでもこの統合委員会の参考資料として取りたいということで共通理解していただければいいんじゃないかなと思います。ただ東大の総長選挙みたいに、票数を全く無視してという考えではないとは思うので、自分の意見のファクトとして、後ろ楯として、やはり地域の方々もそう思っているのかとか、いや、思ったより地域の方々は違う意見なんだなとかという確認のために行うということで、今のところ市の方としては説明会とかそういうのは特にするつもりはないですよね。

古田島補佐　　最終的に統合が決まった段階で説明会が必要かなと思っていたんですけれども、今の段階ではこの統合検討委員会で決めることになっているので、今の段階で教育委員会が説明してしまうと、諮問して答申をもらって初めて教育委員会の方針を説明できるのかなと思います。
　必ず説明はしようと思っていますので、ただ、それが今なのかな、もしそうなのであれば、この委員会で統合しますと決めていただいてからということになるのかなとも思いますし、

どうしたものでしょうか。

五十嵐課長　委員長のおっしゃった通り、アンケートは参考資料という位置付けで、答申をいただいてから、その答申を受けて我々が決定するということでお願いしたいと思います。

古田島補佐　決定した後、説明会は必ず開催します。

佐藤委員長　アンケートを取らないという意見もありましたが、アンケートを取って、そしてその結果も踏まえて、次の会でこの最終的な答申を決めるため話し合うという形を、従来どおり、予定どおりの形で進めて行くことでよろしいでしょうか。

石山委員　一応確認なんですけど、今小菅さんが言ったように、皆さんが賛成に傾いている中、私もこの統合検討委員会の委員になった時に、もう統合する方向で話を進めるんだろうなと思っていたところはありますし、現状を見て統合せざるを得ない状況だろうなと、皆さん思っていらっしゃってると思うんですよね。
統合するしないというところはもうする方向で、できるだけご意見は聞きますんで、という形で私もいいのかなと思って聞いてたんですよね。ただ、このアンケートの結果、賛成か反対かという部分も踏まえて次にまとめるという理解でよろしいでしょうかね。

佐藤委員長　そういうことで進めるということでお願いしたいと思います。

古田島補佐　今後、学校名をどうするかとか、その辺りもアンケートで聞きたいと思っています。統合のこともそうなんですけれども。

荒木委員　アンケートを取ることにして、どうしても笹岡地区と神山地区であれば笹岡地区の人数が圧倒的に多いので、アンケートの答えにも偏りが出てくると思うんですよね。
それについては大丈夫ですか。

古田島補佐　そこも地区ごとにパーセンテージを出して、それを皆様にお示しして、そこを踏まえて検討していただくということで考えています。
なので、学校選択、地区選択をしていただこうと思っています。当然、おっしゃる通り、地区によって場所とか、校名とか、全然違ってくると思います。

荒木委員　アンケート１から順に進んでいくと、統合について賛成か反対かというのに対して理由をお聞かせください、という問４がありますよね。問４と問５は賛成、反対の理由ですよね。
統合場所について、問６、統合する場合学校の場所はどこが良いと思いますか、笹岡小学校、神山小学校、という選択肢がありますが、これに対しての決め手みたいなもの、なぜそう思うのか、というのも入れたほうがいいかなと思います。

佐藤委員長　ありがとうございます。
同様にアンケートの内容についてご意見等ありますでしょうか。

後藤委員　アンケートを取る学年ですが、先程言った４年生以上は、令和 11 年に統合するのであれば自分の子供は関係ない訳ですよね。

荒木委員　若いおばあさんたちが言っていたのですが、自分の子供の代のときにアンケートを取られたことがあったんですよね。でももう自分の子供は卒業するから関係ないという事になったんですけれども、今度孫の問題になっていて、あの時しっかりと自分の意見を言えば良かった、ということもあるので、４年生以上とかではなくてやはり全学年にアンケートを取るべきだと思います。

小菅委員	そうしたら対象者は笹神地区の小学校保護者と未就学児、幼稚園保育園の保護者となっていますが、どこまで対象者にしますか。おじいさんおばあさんも対象にしますか。
荒木委員	いや、今の保護者で大丈夫です。
後藤委員	そうすると地域の方にも聞かないといけなくなるので収拾がつかなくなるかなと思います。
小菅委員	保護者なんで、お父さんとお母さんがいるわけじゃないですか。それも別々で回答して良いってことなんですよね。
後藤委員	それとも各家庭１回にするか。
小菅委員	あと、ちなみに携帯を２台持っている場合アカウントも２つありますよね。その辺の管理は、多分アンケートではグーグルフォームを使うんだとは思いますけど。
後藤委員	あと回答しない方も考えなきゃいけないですよね。
小菅委員	そういう分母の管理みたいなことを市でできるんですか。
古田島補佐	そこまでは正直できないんです。 ただ、各家庭１回ではなく、お父さんお母さんが回答するのが良いのかな、意見が違う場合もあるかなと思いますので、そこは良いのかなと思います。 あとはおじいさんおばあさんが興味を持って回答するかどうかですが。
荒木委員	おじいさんおばあさんは対象にしなくて良いです。 小学校４・５・６年生の保護者が「回答しなくていいや」と思ったら回答しない方もいると思いますが、それはそれで良いことにしてください。
石山委員	管理は大変かもしれませんが、投票券のように、文書１通１通にあなたのログインパスワードはこれです、とするのはややこしいですか。
古田島補佐	そこまではしないです。
後藤委員	管理を簡単にするなら１家庭１回答にしてしまうか。
小菅委員	でも、参考程度ですもんね。要はアンケートの回答結果は見てそれを踏まえてということですもんね。
佐藤委員長	今アンケートの管理方法についてご心配のご意見が出ていますが、確かに言われてみれば、学校でも保護者にアンケートをとる時に、３人在学してる保護者はどの学年の立場で答えれば良いんだというところはありますよね。
古田島補佐	当てはまるものを全て選んでください、にしていますので、子供が複数いる場合は全ての学年を選べるようになっています。
佐藤委員長	お子さんが複数おられる場合は全てを選んでくださいという形なんですよね。
古田島補佐	そうです。
石山委員	おじいさんおばあさんと一緒に考える家庭もあれば、両親だけで相談するところもあれば、場合によってはお父さんお母さんどちらかだけが考えて回答することもあるかもしれないで

すよね。

小菅委員　グーグルフォームを使うと、空欄で次にスキップできないんですよ。だから何かしら選ばなければいけない問題があるんですけど、特に例えば学校名とかを空欄にしたい時に次に進めなくなったりするんで、その辺をスキップできるようにするのかどうか。

古田島補佐　回答必須、にしなければ大丈夫だと思います。必須にしないほうが良いでしょうか。

小菅委員　項目によっては飛ばす人もいるんじゃないかと思います。

荒木委員　答えられない、ということでしょうか。

小菅委員　統合する場所を答えたくない人もいると思います。

古田島補佐　回答しない、意見なし、のような選択肢を入れましょうか。

石山委員　必要なところには、じゃないですか。統合場所について、笹岡、神山のほかに意見なし。
ていうのもあり、お任せします、もう答えたくない、そういう選択肢は任せるよっていう、その方が意見は集まるような気がします。

佐藤委員長　そういう選択肢を設けた方が答えやすいんじゃないかということですね。

古田島補佐　統合のところはどうですか。これはもうあえて賛成か反対かにしてしていますが、どちらでもないというのを入れられなくはないですが、それはどうなのかな、と思っています。

後藤委員　これは賛成反対どちらかですよね。

石山委員　どちらかというと、がいらないんじゃないですか。賛成、反対と真ん中に意見なしみたいな。

音田委員　どちらか、と言えるんであれば、他の項目にもあるように「その他」として括弧書きで何十文字か意見が述べられるようなものを入れるのがいいんだろうと思いますね。

後藤委員　賛成反対、とその他、でしょうか。

音田委員　こういう条件の場合は賛成だけどこの場合は賛成じゃないとか、人それぞれ考えがあると思います。

石山委員　仮に大多数が「どちらかというと賛成」であれば、もうそれは賛成ということですか。
真ん中に、任せる、意見なし、というものがあれば、どちらかというと、は必要なのかなと思います。温度感を図るためにはあっても良いと思いますが。

音田委員　なぜ、どちらかというと、にしたのかですよね。

石山委員　どちらかというと、を選んだ場合は何かあるんですよね。かえってそのあたりの推測が難しくなると思うんですね。
あと、自由意見なんですけど、もっといろんなことを書きたい人も何も書かない人もいるんでしょうけど。

古田島補佐　1000 文字ぐらい書けるようにします。

石山委員　十分ですね。紙ベースで見た時に、一言書いて終わりぐらいのスペースしかないように見

えたので。

小菅委員　逆にどうでもいい人は多分回答しないと思いますよね。もうどっちでもいいんじゃないっていう面倒くさく感じる人は。

石山委員　1000 文字ギリギリまで埋める人も中には１人２人いるかもしれませんし。

古田島補佐　統合のところは賛成、反対とその他括弧を設けて、そこに記入していただくといかがでしょうか。どちらかというと、は取った方が良いでしょうか。

小菅委員　この方がすっきりしますね。その他には何て書く人がいるんだろうとは思いますが。

後藤委員　この校舎なら賛成しますといった条件がある人はそれを書いてもらう。

小菅委員　すっきりした方がアンケートとしては良いですね。統合を検討しているのでどちらかで良いですよね。

石山委員　書こうとする時にすごく悩む気がしたので。
ところで話はずれるんですけど、うちの子供は学童保育に行っていて、学童の迎えがすごく遠くなる、この辺は神山小学校か笹岡小学校かで大きく違ってきますよね。

小菅委員　学童は結構ネックですね。

石山委員　私は職場が近いので良いですが、その時間に帰れなかったらと思うこともあります。そこまでの話になるとまた別の話になるのかもしれませんが。

古田島補佐　正直、笹岡小学校の近くの学童保育施設のスペースはあまり広くないんですよね。なので、神山小学校の児童までは入りきらない可能性が高いです。

小菅委員　うちも申し込みましたが落ちました。

古田島補佐　市の考えとしては学童保育は今の場所のままが良いと思っていて、通学バスでそこまで行ってもらう、ということを考えています。

石山委員　神山小学校で１回降りて、そこで預かってもらう、ということですね。

音田委員　学童の定員を増やしてほしい、という意見はないですか。

後藤委員　以前、学校施設を使ってという話もありましたよね。神山は学校を使っていますが笹岡も学校を使ってという話がありましたよね。

石塚委員　ありました。非常階段から入るような案がありました。

後藤委員　避難経路などいろいろな問題があって別になったと聞きました。

小菅委員　新潟市内だとプレハブですもんね。

音田委員　安田地区は保育園でやったりしていませんか。

五十嵐課長　水原地区もそうです。

音田委員	今の話でまた難しくなるんだけども、どちらかに統合したとして学童保育はどうなるのかという意見に対してちゃんと説明しておかないといけない。質問欄、その他欄を多く設けておくか、あらかじめ説明しておくか。 親御さんも、今笹岡に行ったらみんな入れないんでしょうから。
小菅委員	２時頃に家に帰ってこられても、親は仕事をしていますからね。
石山委員	学童という言葉は自分の子供になってからの話で、私たちの頃なんて当たり前に家に帰ればおじいさんおばあちゃんがいました。それが今はもう学童に児童がいっぱいいますよね。共働きが当たり前で、核家族にとってはそれしか方法がないんですよ。
後藤委員	おじいさんおばあさんも多分現役で働いていますよね。
音田委員	神山小学校が校舎内に学童があるのだったら、統合した笹岡小学校にも学童ができないかという話が出るかもしれません。
佐藤委員長	この最後の自由意見のところに、統合や学校のあり方についてご意見があればっていうと学童は何か書けないような感じなんですけれど、その他聞きたい点があればお書きくださいという表記にしておけば、今のような学童保育に対する不安も出てくるかもしれない。
後藤委員	統合後の不安要素とか。
佐藤委員長	統合後に心配な点があればお書きください、という表記で。
音田委員	オブラートで隠さないで、学童は笹岡に足りないですとか、神山もやや足りないですとか、そのくらい書いておかないと判断基準が足りないですよね。まずその前に学童を作って欲しいよと言うかもしれない。寝た子を起こす、ではなくて、そういうものが大事だと思います。
後藤委員	今の小学生の保護者は理解していると思うんですけど、未就学児の親は多分そこまでわかっていないと思います。それを入れるとすると、いろんなことを入れていかなきゃいけないと思うので、自由意見で書いてもらうことにするのが良いと思います。
佐藤委員長	先ほどの文言みたいの入れていくっていう形でどうでしょうかね。この会議録も公開されますので。
古田島補佐	意見や要望、心配なことがあればお書きください、でいかがでしょうか。
佐藤委員長	学童とかそういう形で書いてもらえればと思います。もちろん委員の方もアンケートに答えて良いわけですからね。特にＰＴＡの方からは、ここが問題になるだろうと思う点について書いてもらえれば良いと思います。 やはり、こうやって熟慮してか議論をしているのでいろんなことが想像できて、心配になるなっていうのが出てくるのだと思います。普通に忙しい中アンケートを回答するとなるとパパッと回答する方は多いと思います。委員の方はそこを踏まえてアンケートに回答してもらう、記載してもらうのが良いと思います。 ほかに何かありますでしょうかね。そろそろ時間も来ていますので。
石塚委員	一つよろしいでしょうか。 統合の方針の中に、理由としてどうしても引っかかるのは複式学級なんですよね。これを読むと複式学級が悪いイメージになってしまうんですよね。だから複式学級はあまり理由にして欲しくないなというのは私の本音です。
小菅委員	複式学級を回避するために、というところですか。

石塚委員	複式学級を回避、というところですが、複式学級は本当に悪いのか。確かに複式学級はほかにもたくさんあるし、複式学級が全て悪いというわけではないので、児童数は減ってくるのは仕方ないけれども、だからといって、複式学級を解消するため、でない内容、理由としてほしいと思っています。
小菅委員	近々の課題として、この文言は神山小学校に向けて言っているようなものですからソフトなんですよ。そういうのは省いてもいいかもしれませんが。
小野委員	さっき言ったんですけど、なので令和 11 年の入学者数が３人というところが大事なんじゃないかなと思います。そこを複式学級の理由で押されちゃうと、統合は令和 12 年でも良いことになりますね。そうすると統合がもし令和 12 年になってしまうと、その３人の保護者がなぜそうなるんだと思ってしまいます。
後藤委員	令和 11 年の入学者数が３人となる見込みです、だけを記載した方が良いのでは。
小野委員	より良い環境のために、ということで。
古田島補佐	教育委員会の方針、という案で良いでしょうか。それとも現状を説明、の方が良いですか。
小野委員	資料のグラフについて、全校児童数が記載されていますが、入学児童数の推移を入れていただいて、このようにどんどん減っていきますというところを示してもらう。もう当然複式学級になるんですけど。 令和 11 年の入学児童数が３人となる見込みであり、その後も表のように全校児童数は減っていきます、と記載する。
古田島補佐	ではその部分も記載します。 あと、現状説明の方か、市教育委員会の方針を説明の方か、どちらが良いですか。
荒木委員	方針は方針だから、案をつけずに方針で良いんじゃないですか。方針はこういう風にしたい、終わったこと、決まったことではないから、さらに優しい表現で案、ということでしょうか。方針に案をつけることはないと思います。
古田島補佐	いえ、私も方針で良いかな、と思います。 あと、文章も、統合する方針で検討を進めています、が良いのか、統合することが望ましいと考えています、が良いのか。元々の文章から「複式学級」という文言を取って、入学者数が減る、それ以降もどんどん減っていく、と記載することにするのか。
五十嵐課長	複式学級になることを伝えないでアンケートを取るのもどうなのかなと思います。
小菅委員	複式学級になることはもう学級編成の基準で決まっているんですよね。であれば記載して問題ないですよね。
後藤委員	この児童数推移のグラフの下に複式学級の基準を記載すれば良いのではないですか。 文部科学省の複式学級になる基準だけを明確にして記載すれば（小学１年生を含む学級の場合は合わせて８人以下、その他の学年は合わせて 16 人以下)、複式学級になってしまうんだっていうのがわかるわけだから。
石山委員	それでは困るから統合を考えなきゃ、という風になるのでは。
佐藤委員長	事務局、よろしいですか。

古田島補佐　はい。
あと、理由はこのままで良いでしょうか。

古田島補佐　最後に確認です。
小学校統合についてはその他を選択肢に加えて、どちらかというと、をなくす。
それから、場所については、意見なしというものを加えて、決定した理由を記載する欄を設ける。
統合時期については、その他もあるんですけど、意見なしというものもあった方が選択しやすいということで良かったでしょうかね。
あと、学校名も意見なしがあった方が良いですかね。

小菅委員　そうですね、はい。

古田島補佐　わかりました。その場合は全部回答必須にします。
こんな感じでよろしいでしょうか。
（全員承認）
わかりました。

佐藤委員長　このアンケートは、今後でき次第発送する、ということでしょうか。

古田島補佐　修正して後、皆様に一度確認していただいた方がよろしいでしょうか。
児童入学者数を加えたりしますが、今の案とそんなに変わらないかと思うので、もしこれで良ければこのままでよろしくお願いします。
今直したもので大体よろしければ、これでアンケートを送りたいと思います。

小菅委員　１回ＱＲコードで試してみたいです。

石山委員　皆さん揃わないところで良い悪いを決めるのは難しくないですか。誰かの意見だけで修正されているというのは良くないんじゃないかと思います。
また集まって確認するのであれば、この場で固めてしまった方が良いと思います。

小菅委員　皆さん時間もないでしょうし。

五十嵐課長　これでＯＫをいただけるとありがたいです。

石山委員　アンケートの結果で全てが決まる訳ではないですもんね。参考にする訳ですから。

小菅委員　事務局から学校に渡して、それが各家庭に配られるという流れでしょうか。

古田島補佐　そうです。
ただ、統合検討委員会という名称で出させていただきます。問合せ先は私になっていますけれども、委員会の中で検討するためなので、こういった形でさせてもらいます。

小菅委員　委員会名で出す場合、委員長名はいりませんか。

古田島補佐　記載しても全然良いので、記載した方が良いですか。

小菅委員　いや、何となくそういうのが多いよなと思っただけです。
多いよなと思っただけ。

音田委員　あった方が良いですよね。

石山委員	委員長名があった方が、実態のある組織だという感じは伝わると思います。 アニメなんかで「製作委員会」と言われても、誰がいるかわからないので。 代表者名がある方がしっかりしていそうな文書になると思います。
佐藤委員長	そういう方向で進めるということで、事務局も大変だと思いますが、よろしくお願いします。
古田島補佐	このアンケートを整えて、遅くとも今月中にはアンケートを配布して、回答期間を２週間程度、たぶん回答する方はパッと回答して、しない方はしない気がしますので。
小菅委員	２週間あれば十分。
古田島補佐	一応11月末までには委員の皆様にアンケート集計したものを一度お届けしたいと思っています。それを事前に見ていただいて、12月に第3回の会議を行いたいと思っています。今までは資料を当日配布していましたが、事前にアンケートの結果は皆様にお配りしたいと思っておりますので、それを見て、最終的な皆様のご意見を聞きたいと思っております。
古田島補佐	それでは次回の会議の日程を決めたいと思います。 （調整の結果、12月９日（水）午後６時開始に決定）
佐藤委員長	以上ですべての審議を終了します。皆様ご意見ご協力ありがとうございました。 事務局にお返しします。
五十嵐課長	皆さん大変貴重なお時間、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。 今日の会議録につきましても前回同様に委員長に内容を確認していただいてホームページに掲載させていただきます。第１回のホームページもすでに掲載されておりますのでご覧ください。 議事録につきましては、一字一句文字起こしをした訳ではなくて、ニュアンスは変えないで、文章としてつながる感じで作成させていただいてますので、こんなことは言ってないとか、これを言ってたとかっていうのをおっしゃっていただければ修正しますので、第１回の会議録もご確認いただければと思います。よろしくお願いいたします。 それでは、本日の会議をこれで閉会といたします。ご協力ありがとうございました。

午後７時３０分　閉会